

平成29年度 学校評価自己評価表 (中間)

廿日市市立津田小学校

- 1 学校教育目標 『夢に向かいチャレンジする津田小の子』 ～自ら考え行動する子・自他を大切に子・元気にチャレンジする子～
- 2 ミッション 「夢に向かい諦めずに夢を育む児童の育成」をするために知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する
- ビジョン 児童・教職員・保護者・地域が共に誇れる学校をめざす

評価計画						取組の方策				必要なアンケートの項目 チェックする時期と担当者など		自己評価			学校関係者コメント
中期経営目標	短期経営目標	評価項目	担当	評価指標(目標値)	評価	具体的に、取組指標も入れる				評価	根拠	改善方策			
確かな学力(知)	◎基礎的・基本的な知識、技能の定着	・児童に確かな学力をつけている。	教務部	【市共通項目】 ・6年生「全国学力調査」B問題で平均通過率60%以上の児童の割合	70%以上	4	① チャレンジタイムで基本的な内容を定着させる。 ・視写に取り組み書く力をつける。 ・各学年の目標を決める。「丁寧に素早く集中して」 ・1週間同じ内容を視写し、伸びを実感させる。 ・音声計算に取り組み、基礎的な計算力を高める。 ② 授業づくり ・単元全体を見通した授業づくりをする。 ・既習事項を活かして次の課題を解決する授業の流れを作る。 ・授業の見通しを持って時間配分を守り、適応問題を行い「わかった」「できた」と実感させる。 ・最終的に自力解決のできる子どもを育てる。	「全国学力テスト」調査結果(4月)	1	「全国学力テスト」調査結果について 国語平均正答率60%以上の児童の割合55% 算数平均正答率60%以上の児童の割合22% 平均して38.5%であり、評価は1である。	8	・2学期以降もチャレンジタイムや家庭学習で基本的な内容の定着を図るように全学年で実施する。 ・国語では、いろいろな文章や資料に触れる活動や、課題に合わせた記述・視写活動を取り入れ、根拠をもって自分の考えを書く学習に取り組ませる。算数では、必要なことを絵や図で示したり、言葉で表したりする活動を仕組み、問題を正しく読み取る力を育成する。また、グラフから数値を読み取って考えたり、いろいろなグラフを組み合わせて考えたりすることができるような練習問題に取り組ませる。理科においては、実験の考察を自分の言葉で端的に表現するなど授業内容を自分のことばでまとめる活動を積極的に取り入れる。(4年生算数の標準学力テスト) ・チェック実施は3学期となるが、学力向上に向けて上記の取組を全学年で実施する。	・家庭学習に対する保護者の対応はどうか。学校の取組が家庭でも共有できるようにするとい。		
					63~69%	3									
					55~62%	2									
					55%未満	1									
					70%以上	4									
					63~69%	3									
					55~62%	2									
					55%未満	1									
					80%以上	4									
					70~79%	3									
					60~69%	2									
					60%未満	1									
豊かな心(徳)	・生命を大切に思いやりを持って行動できる「豊かな心」を育む	○積極的な生徒指導を推進し、いじめの学校をめざす。 ★自他の良さを認め合う、自己有用感の育成	生徒指導部	・児童の肯定的評価(級友関係、規範意識関係、自己存在感関係項目)	90%以上	4	・帰りの会で全学年、週に3回は「いいことみつけ」を行い「今週の1枚」を放送・掲示する。学級全員が認められる機会を持てるように、席替え後に「ありがとうメッセージ」を贈るなど学級実態に合わせた取組をする。 ・アセスによる学級全体と個人の傾向を把握し、取組に役立てる。 ・面談週間をとることで、一人一人の児童と丁寧に話をしたり聞いたりする時間をもつ。	児童アンケート(7月、12月) 「学校に友だちがいる」 「学級のみんなから認められている」 「津田小学校はいじめのない学校になっている」	3	児童アンケート(7月) 「学校に友だちがいる」98% 「学級のみんなから認められている」81% 「津田小学校はいじめのない学校になっている」88%	8	・いじめに対する保護者の意識もアンケート等を通して引き続き把握する必要がある。 ・「褒め言葉」も必要だが、「ありがとう」という言葉を遣うことで自己有用感が高まると思う。			
					80~89%	3									
					70~79%	2									
					70%未満	1									
					健やかな体(体)	・活力ある生活の基盤となる体力や運動能力を養い、「健やかな体」を育む							○健康に対する意識を高め、活力ある生活の基盤となる体力や運動能力を育む	健康安全部	・体力づくりの取組の達成目標の到達度。投力・握力における県平均以上の学級の割合(男女別)
6/12	3														
4/12	2														
2/12以下	1														
信頼される学校	・保護者・地域と連携し、信頼され、開かれた学校づくりを推進する	○地域文化の伝承や歌声等の学校文化を創造し、発信する。	学校評価委員会	・各学年の学校支援地域本部に支援をいただき、地域の力を活用した授業後の児童アンケートによる肯定的評価の割合			80%以上	4	・地域のの方々にお礼の手紙等、感謝の気持ちを表す。	児童アンケート 「地域の人に教えていただいたり、一緒に活動したりするのは楽しいですか。」 肯定的評価 97%(1学期支援のべ回数99回、支援者数284名) 「津田のことについて、「もっと知りたい」、「調べてみたい」と思うことがありますか。」 肯定的評価 87%	4	「地域の人に教えていただいたり、一緒に活動したりするのは楽しいですか。」 肯定的評価 97%(1学期支援のべ回数99回、支援者数284名) 「津田のことについて、「もっと知りたい」、「調べてみたい」と思うことがありますか。」 肯定的評価 87%			
					70~79%	3									
					60~69%	2									
					60%未満	1									
小中連携	・将来への夢や希望を持たせ、基礎的基本的な学力と基本的な生活習慣の向上を図り児童の自己肯定感・自己有用感を高める ・自信と誇りを持った児童	◎家庭学習に自ら取り組む児童の育成	教務部会	・家庭学習の時間調査結果(各学年の設定目標時間のアンケート結果)	85%以上	4	・家庭学習ステップアップ週間で学期に1回実施し、家庭での過ごし方を意識させ、保護者にも協力を得る。 ・家庭学習ステップアップ週間カードで、学習時間、自主学習の伸びを見取り、振り返りをさせる。 ・「自学のすすめ」をもとに学習の仕方を指導し、自分で取り組む課題を週1回以上行わせる。(家庭学習の質をあげる) ・普段から、わからないまま空白で終わらせない指導をする。(必ず解答する、自分で調べるなど)	児童アンケート(7月、12月) 「学校がある日に、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。」 保護者アンケート 「子どもは学校があった日、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。」	3	児童アンケート7月 「学校がある日に、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。」 肯定的評価91% 保護者アンケート7月 「子どもは学校があった日、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。」 肯定的評価72% 平均して81.5%であり、評価は3である。	8	・2学期以降も家庭と連携を図りながら取組を進めていく。 ・家庭での過ごし方・家庭学習の大切さについて、ステップアップ週間だけではなく、通信や学級懇談会等を利用して話し合うことで、児童・保護者の意識を高めていく。 ・全学年において、家庭での自学の学習に取り組んでいく。			
					80~84%	3									
					70~79%	2									
					70%未満	1									
					○マナーや規範意識の育成	生徒指導部会							・「さいきつ子ノート」にあるマナーや規範意識を守ろうとしている。学習規律の徹底。	90%以上	4
	80~89%	3													
	70~79%	2													
	70%未満	1													